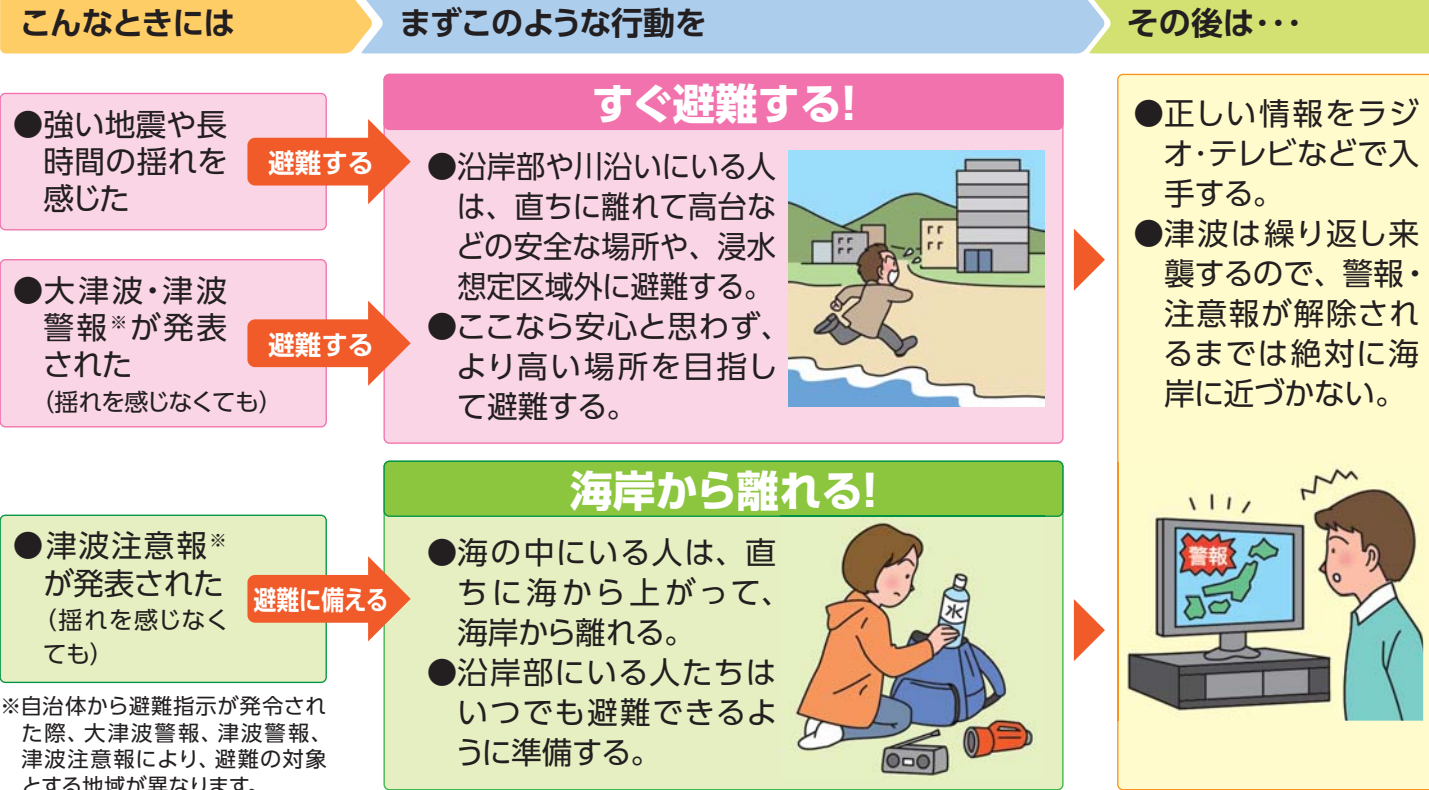


津波の危険から身を守りましょう

迫りくる巨大津波から命を守るには、津波が届かない高い場所へ避難するしかありません。自分の命は自分が守るということを強く意識してください。津波の危険がある場所では、「大きな揺れを感じたら、すぐ避難する。」このことを心がけておきましょう。

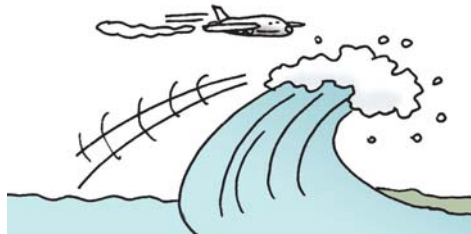
津波から命を守る対応チャート



津波はこんなところに注意!

水深が深いほどジェット機並みの速さ!

津波の速さは海底までの深さに応じて変化する。深海では、ジェット機並みのスピードで進む。海岸近くでも秒速10メートルと陸上短距離の世界記録並み。



津波の高さは想像を超える!

津波の高さは海岸などの地形に影響される。V字型の湾の奥、岬の先端などの特殊な地形の場所では波が集中して高くなる。

津波は繰り返しおそってくる

津波は何度も繰り返して押し寄せるうえ、第1波が最大であるとは限らない。最初の波が小さいからといって安心して自宅などに戻るのは極めて危険。



津波は川を遡上する

津波は川をさかのぼる。東日本大震災では、宮城県の北上川を約50キロも遡上した。沿岸部だけでなく河川流域でも津波への警戒が必要。

津波から避難するときのポイント

まずは海や川から離れる

津波により浸水が想定されている地域では、まずは浸水想定区域外への避難を最優先に。



避難は徒歩で

原則として、車で避難するのはやめる。



逃げ遅れたら「高く」に

すでに浸水が始まってしまっていたら、「より高い」場所に逃げる。



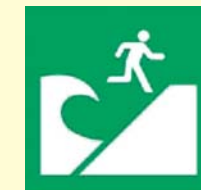
津波に関する注意報・警報

津波による災害の発生が予想される場合、大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されます。また、マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、最初の津波警報で、予想される津波の高さを「巨大」「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。津波警報を聞いたら、直ちに避難しましょう。

警報・注意報の種類	予想される津波の高さ	
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大
	10m (5m<高さ≤10m)	
	5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)

(出典：気象庁)

津波避難に関するマークを覚えておこう!



津波避難場所

「概ね海拔10m以上の広場等」を津波の際の避難場所として表しています。



津波避難ビル

「避難が困難な方や逃げ遅れた方が緊急に避難する建物」を表しています。

■南海トラフの海溝型地震における最大津波高および到達時間

地点	1メートル波高到達時間	最大津波高到達時間	最大津波の高さ(メートル)
田ノ浦ビーチ	1時間27分	1時間47分	4.44
豊海五丁目	1時間27分	1時間41分	4.30
大野川河口	1時間28分	1時間48分	3.60
佐賀関港	1時間3分	1時間15分	4.09
佐賀関西町	53分	1時間9分	8.31
上浦漁港	50分	1時間10分	5.97

■別府湾の活断層による地震における最大津波高および到達時間

地点	1メートル波高到達時間	最大津波高到達時間	最大津波の高さ(メートル)
田ノ浦ビーチ	18分	39分	6.49
豊海五丁目	17分	57分	6.70
大野川河口	18分	1時間3分	7.26
佐賀関港	3分	5分	2.96
佐賀関西町	-	1時間25分	1.91
上浦漁港	-	1時間24分	2.15

防災・減災キーワード

「津波フラッグ」を知っていますか?

津波フラッグとは、海水浴場などで津波警報などを伝える旗で、長方形を四分割した赤と白の格子模様のデザインです。聴覚に障がいのある人や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の人に津波の危険を視覚的に伝えます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

